

# コープやまぐち組合員賞 すこやか夢農園

代表者 岡山 幸子（地域づくり分野／柳井市）

## 活動の動機・目的

県外生活が長く、退職後、久しぶりに地元伊陸いしかちに帰ると、昔に比べ荒廃した農地、山林、空き家が増え、中学校は廃校、子どもたちは減っていた。豊かで楽しく暮らしやすい里山づくりをめざし、空き家をリフォームした。ここを交流拠点として、自然を保全して、未来に繋げていく責任感を覚え、故郷伊陸にご恩返しおんがへしの活動をしたいと願った。

- ・世の中の役に立つ仕事や、自然の保全活動を通じて、子どもたちと未来につなげていく活動をする。
- ・故郷の縁に支えられたご恩返しおんがへしの市民活動団体を5年前に同窓の仲間たちと立ち上げた。
- ・老いも若きもみんなで一緒に郷土食を食べる。地域伝統野菜や行事、里山での遊びを通じて、自然の役割りや大切さを未来に繋げていく。町おこしイベントや、参加型の講演会、子どもたちと畑で農業体験をして、収穫野菜を一緒に調理してみんなで食べる。そのような子ども食堂を開催する。

以上を目的とする。

## 活動の内容

- ①「地域」と「人」「食」をつなげるネットワーク事業
- ②「農業女子」のネットワークづくり支援
- ③自然再生及び環境保全活動
- ④里山保全のための自然観察会や体験活動、里山整備、学習支援体験催しなどのイベントを企画。年8回位、計画的に開催。
- ⑤子ども食堂の取り組み

- ・毎月第三日曜日（夏休み期間は不定期）幼児～高校生を対象とした無償の子ども食堂を開催。
- ・講演会や、コーラス、コンサートLive、ボードゲーム、木陰での夏休みの宿題など、催しを企画。
- ・県内で生活する老いも若きも子どもも参加できる。
- ・一緒に畑を耕して、収穫野菜をみんなで調理して楽しく食べる。この際、お弁当も作って地域の方々に20食程度配食している。

## これからめざしたいこと

- ・女性が輝き、夢と希望を持って地域活動をして、いつまでも住み続けたいと願い、夢がかなう里山にしたい。
- ・里山伊陸のすばらしさを見つけて、それを活かして守っていききたい。
- ・子どもたちのために、より良い文化環境と、里山で自然に親しむキャンプや読み聞かせ会、森林資源を活かしたものづくりに取り組んでいきたい。
- ・『地域の人々がつながる拠点づくり』『子ども食堂』と『弁当づくり』を充実させる。
- ・地域の食材を活かした食事の提供と、身の回りの困り事に対応する生活支援事業が柱になるNPO法人「夢すこやか☆老いも若きも子ども食堂」を5月に設立予定です。



なかまと一緒に



子ども食堂でカレーライス